

令和7年度 学校教育アンケートの結果について

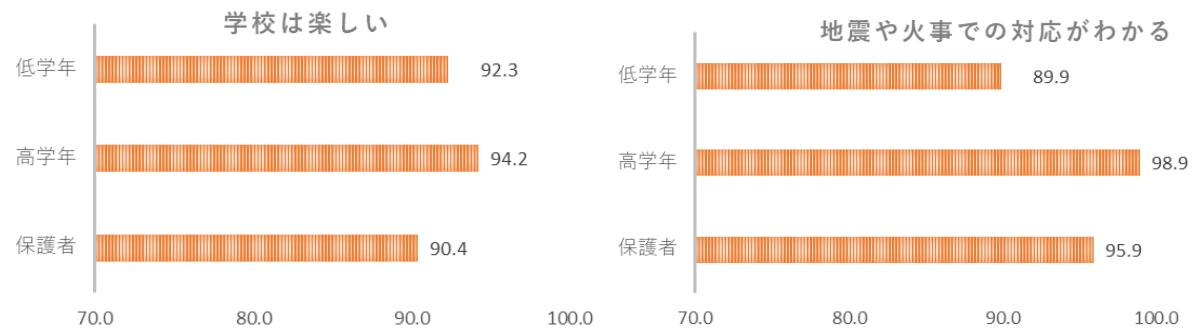
令和8年2月 松原市立三宅小学校



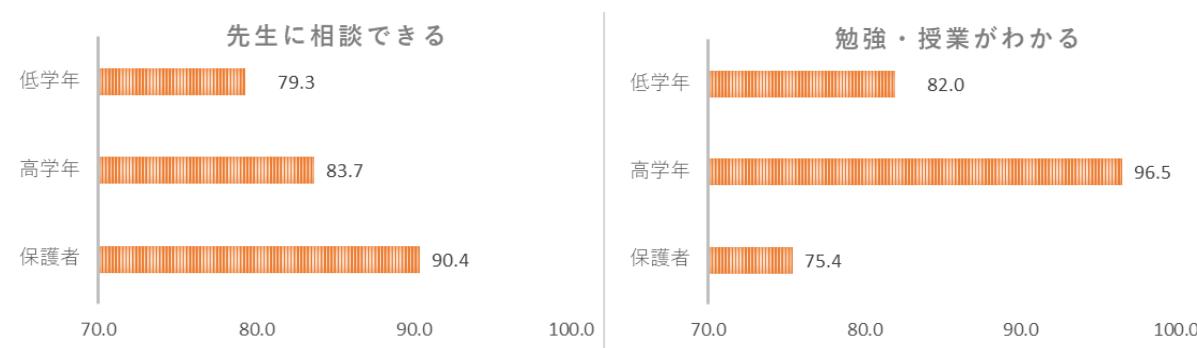
向春の候、保護者の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また日頃より本校学校教育にご支援、ご協力いただきありがとうございます。

さて、令和7年度の学校教育アンケートについて、ご協力いただきありがとうございます。結果についてとりまとめた内容から、特徴的なものを報告させていただきます。結果を様々な教育活動の場面で参考にさせていただき、今後、三宅小学校が子どもたちにとって、よりよい学校になるよう取り組んでまいります。

※数字は肯定的な評価の割合です



児童、保護者共におおむね良い評価といえます。



低学年児童、高学年児童、保護者によって評価が分かれています。

低学年児童の結果より

おおむね良好といえる結果でした。しかし「話し合いなどで自分の気持ちがよく言える」の肯定的な回答の割合は66と低く、昨年度と比べても6ポイント下がっています。

「勉強がよくわかる」82（昨年度より8ポイント↓）や「わからないとき先生にすぐ聞くこ

とができる」83（昨年度より3ポイント↑）も少し低く、課題と考えています。また「先生に相談できる」は79ポイントで低いのですが、「先生はよく話を聞いてくれる」94、「いやなことがあればよく聞いてくれる」94、「がんばったことをわかってくれる」92のように、先生に対しての評価は高い結果でした。

高学年児童の結果より

ほとんどの項目において肯定的な回答が90以上で、良好といえます。その中でも、「命の大切さや社会のルールについて学習する」99（昨年度より6ポイント↑）「自分を大切にし、他人への思いやりを学ぶ機会がある」92（昨年度より3ポイント↑）「自分には良いところや得意なことがある」94（昨年度より7ポイント↑）「人の気持ちがわかる人間になりたい」98（昨年度より2ポイント↑）「人の役に立つ人間になりたい」100（昨年度より6ポイント↑）「総合学習は新しいことを発見できる」98（昨年度より9ポイント↑）自分に自信をもち、前向きな意識がうかがえます。一方で読書に課題が見られました。昨年度より2ポイント上がったものの「図書室や図書館の本をよく利用する」79や「読書タイムでしっかり本を読んでいる」74（昨年度より5ポイント↓）

低・高学年児童ともに「ケガをしたとき次はどうしたらケガをしないか考える」

低学年が77、高学年が76という結果で、課題と考えています。子どもたちなりに高学年を中心にして「どうすればケガをなくすことができるか」を考え、呼びかけやポスター等の掲示で啓発に努めていましたが、意識の高まりにはつながらなかったようでした。今後は、結果をふまえて、安心安全な学校づくりの取り組みに活かしたいと思います。

保護者の結果より

「学校は楽しいと言っている」90（昨年度より4ポイント↑）「学校に友だちがいる」100（昨年度より13ポイント↑）と良い結果でした。また、「先生は間違った行動に正しく指導している」92（昨年度より7ポイント↑）「子どもの人権を尊重する姿勢で指導に当たっている」81（昨年度より3ポイント↑）と評価する一方、関連する次の2項目については肯定的評価が低くなっていました。「いじめのない学校づくり」62（昨年度より5ポイント↓）「人権尊重の意識を育てようとしている」67（昨年度より7ポイント↓）また、「家庭への連絡をきめ細かく行っている」91（昨年度より3ポイント↑）高い評価に対して、「教育方針を分かりやすく伝えている」は74（昨年度より2ポイント↑）と低く、連絡や意思疎通はできているものの、教育方針は分かりにくいようでした。伝え方が十分でないことをふまえて取り組む必要があると考えます。